

福岡県損害保険防犯対策協議会筑豊部会総会を開催

～筑豊地域の各警察署と不当不正請求根絶に向けた連携を確認～

一般社団法人日本損害保険協会九州支部では、1月28日(火)15時00分から飯塚市の「のがみプレジデントホテル」において、福岡県損害保険防犯対策協議会筑豊部会第43回定期総会を開催し、来賓・顧問・会員など53名の出席がありました。

開会にあたり、福岡県損害保険防犯対策協議会筑豊部会 飯守 禪 部会長（東京海上日動火災保険株式会社 北九州支店長）から、関係各位へ支援・協力の謝辞をお伝えするとともに、「今般の保険業界における不適切事案に対しては、法令等遵守の徹底をはじめ、業界慣行の見直しにも踏み込み、業界として信頼回復の取組みを進め、今後とも本協議会の使命を果たすべく、関係機関と連携し、不当不正請求の排除と保険犯罪の防止に向けて、より一層の努力をしていく所存である。」との挨拶がありました。

次に、来賓の福岡県飯塚警察署 木原 署長より、「徹底した暴力団排除活動の効果を感じる一方で、犯罪は巧妙化しており、SNS等を利用し活動する集団（匿名流動型犯罪グループ）の裏には、暴力団組織等とも繋がり、強大な犯罪組織が資金を得ている状況である。反社会勢力や新たな犯罪組織の排除対策を講じているが、皆様からの早い段階での情報提供が必要不可欠である。引き続き県警察と情報連携願いたい。」と挨拶がありました。

続いて、福岡県弁護士会民事介入暴力対策委員会 大竹 委員から「SNSを利用した闇バイトやロマンス詐欺また、安易に口座を教えた為、詐欺の共犯とされてしまう等の相談が増えており、反社会組織の犯罪が巧妙化してきている。今後も関係機関と協力し、あらゆる暴力・不当不正な請求の排除を目指し、より一層の努力を続けていく。」と挨拶をいただきました。

また、福岡県損害保険代理業協会筑豊支部 長野 支部長からも「地域のお客様に最も身近な保険代理店は、特殊詐欺など反社会的勢力等が関与する犯罪に対して、被害者を一人でも少なくするため、知りえた情報は県警察や保険会社等へ共有しつつ、反社会的勢力との取引など一切の関係を持たない。」との決意表明がありました。

本部会 福島 代表幹事からは2024年度の協議会活動の報告があり、「今般の保険犯罪では、保険金請求の際に請求者自らだけでなく、第三者である専門家が関与する架空・水増しによる保険金不正請求や保険事故の偽装など、巧妙化・多様化の傾向が見受けられる。県警ならびに関係機関のご支援を仰ぎながら、損保業界一丸となり、お客様の信頼に応えるべく、不正・不当請求者の排除に向けた取組みを推進していく。」旨、来賓や顧問にお約束して報告を結びました。

講演では、福岡県警察本部暴力団対策部組織犯罪対策課 中村 暴力団排除対策官から、「県内の暴力団情勢等について」をテーマにご講演いただきました。

最後に当部会 坂井 代表幹事から決議文が読み上げられ、採択されました。

損保協会九州支部では、福岡県警察や関係機関と連携し、民事介入暴力対策および不当不正請求対策を進め、健全な損害保険事業の運営を通じた地域の安全・安心に貢献してまいります。

なお、総会の式次第は次の通りです。

福岡県損害保険防犯対策協議会 筑豊部会第44回総会 式次第

(司会：春山 義隆 代表幹事 三井住友海上社)

1. 主催者挨拶
防犯対策協議会筑豊部会 飯守 禪 部会長 (東京海上日動火災社)
2. 来賓紹介
3. 来賓ご祝辞
福岡県飯塚警察署 署長 木原 明德 様
福岡県弁護士会 民事介入暴力対策委員会 委員 大竹 健太郎 様
福岡県損害保険代理業協会筑豊支部 支部長 長野 幸光 様
4. 活動報告
防犯対策協議会筑豊部会 福島 謙一 代表幹事 (損害保険ジャパン社)
5. 講演 「県内の暴力団情勢等について」
福岡県警察本部暴力団対策部組織犯罪対策課 暴力団排除対策官 中村 祐二 様
6. 決意表明
防犯対策協議会筑豊部会 坂井 庸士 代表幹事 (AIG損害保険社)
7. 閉会の辞
防犯対策協議会筑豊部会 辻中 康平 代表幹事 (あいおいニッセイ同和損保社)



春山幹事による司会



飯守部会長による開会の辞



木原署長の挨拶



大竹委員の挨拶



長野支部長の挨拶



福島幹事による活動報告等



中村暴力団排除対策官
による講演



坂井幹事から野尻刑事管理官
へ決意表明



辻中幹事による閉会の辞